



相模原市立 公文書館だより

平成27年5月創刊号

公文書館開館ごあいさつ

相模原市立公文書館が平成26年10月1日開館しました。

公文書館は後世に残すべき重要な公文書について、歴史的公文書として集中管理を行うとともに市民の皆様が実際に閲覧を行える機能を備えることによって、公文書が市民の皆様にとって共有の知的資源であるとの認識を具体的な施設として明らかにしたものです。これで平成25年12月に制定した公文書管理条例と相まって公文書を管理するソフトとハードが出来上がったこととなります。



明治・大正・昭和・平成と移り行く世相を映し、行政がその時々々に作成した公文書をご覧いただくことができます。

また、市議会会議録や市・町史などの行政資料も配架し、閲覧・複写することができますのでご利用ください。

歴史的公文書の利用に当たっては、情報公開と同様の申請手続きが必要となっておりますが、土・日も開館をしていますので、大勢の方々のご来館をお待ちしています。

相模原市立公文書館長 飯田生馬

市立公文書館がオープン



平成26年10月1日(水)に、公文書館において開館記念式典が行われました。

約60名の関係者が一堂に会し、加山市長、須田市議会議長はじめご来賓の方々のあいさつの後テープカットが行われました。

公文書館が入る施設は、旧城山町の議場を有効活用したもので、議員席や傍聴席などは当時のままにして閲覧や講演会

などに使用しています。

また、企画展として市制施行60周年を記念し、昭和29年に相模原市が誕生してからの様子や公文書館の所在する旧城山町に関連する資料の展示を行い、来館者の方にご覧いただきました。

公文書館って何をするとところ

公文書館は、歴史的公文書を保存・管理する施設であると同時に市民の皆さんが閲覧などで利用できる場です。公文書を身近に感じ、親しんでいただけるよう、本市の成り立ちや特色をテーマにした企画展示や講演会などを実施していきます。

歴史的公文書とは

過去の公文書の中には、貴重な本市の成長の過程が記録されています。

これらの公文書のうち、後世に残すべき重要なもので、永久に保存をしていく必要があるものを、歴史的公文書といいます。

公文書館の役割・公文書館でできること

歴史的公文書などの利用についての相談

歴史的公文書の利用請求の受付

歴史的公文書の企画展示

歴史的公文書に関連する講演会の開催

行政資料（市の予算書・統計書・都市計画図など）の閲覧や販売

広報的資料（ポスターやパンフレットなど）の閲覧 など

利用の方法

<歴史的公文書の利用方法について>

- ・ 歴史的公文書の利用を希望するときは、「歴史的公文書利用請求書」に御記入のうえ、公文書館の受付に提出してください。
- ・ 利用請求書の提出後、申請のあった歴史的公文書の利用の可否について、原則として2週間以内に決定の上、通知いたします。
- ・ 歴史的公文書の中には、個人情報等で利用できない場合や、審査に時間がかかる場合があります。
- ・ 歴史的公文書の館外貸出はできません。
- ・ 歴史的公文書の写真撮影又はコピーを希望する場合は、係員にご相談ください。

<行政資料の利用方法について>

- ・ 開架式書架の資料は自由にご覧いただけます。
- ・ 行政資料については、次のサービスも行っています。ご希望の際は、係員にご相談ください。
- ・ 市の統計書、総合計画書など市の行政資料の販売しています。
- ・ 行政資料の貸出しを希望される方は、係員にご相談ください。貸出期間は、7日以内です。
- ・ 行政資料は館内に設置している有料コピー機を利用し、複写することができます。用紙はA3、A4サイズのみで1面10円です。

相模原市立公文書館ができるまで

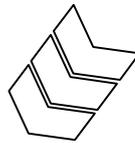
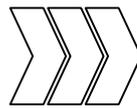
平成19年の相模原市と城山町の合併に伴い、利用しなくなった旧城山町の議場を有効活用できるようにリニューアルし、新たに市立公文書館としてオープンしました。書棚・展示台側は床をフラットにし、議員席側に手すりを設置するなどバリアフリー化を行いました。議員席は、そのまま閲覧席として利用しています。



改修前の公文書館（旧城山町議場）



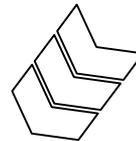
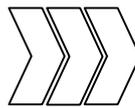
段差のある部分を撤去



段差が完全になくなりました



カーペットの張替え、手すりの設置完了



書棚、展示台、カウンター設置完了



完成！

公文書館内ご案内

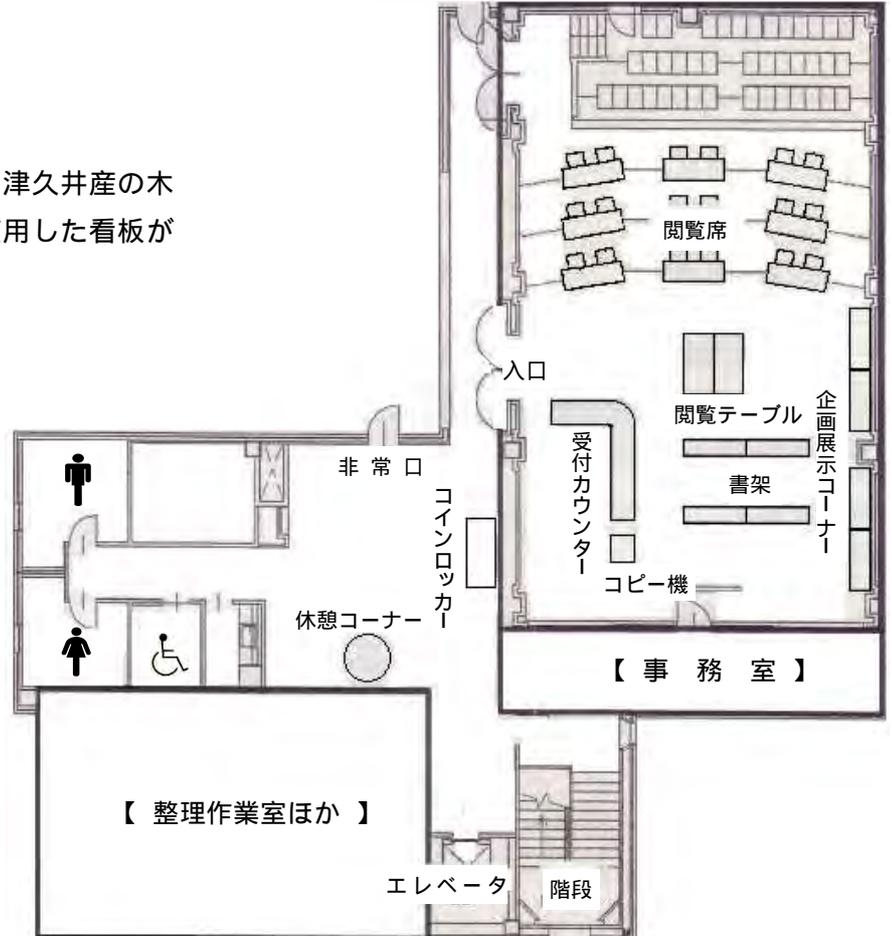
傍聴席：議会を傍聴するために備えられていた席です。講演会開催時に客席として使用しています。椅子の幅は狭いですが、講演会を聞くには一番見やすいところです。



入口：津久井産の木材を使用した看板が目印



受付カウンター：有償刊行物の販売、行政資料や歴史的公文書の利用に関するレファレンス（相談業務）などを行います。お気軽に職員にお声掛けください。



書架：行政資料を約2,200点保管。閲覧はもちろんデジタルカメラでの撮影や複写(有料コピー)も行えます。



有償刊行物コーナー：市で発行している有償刊行物を配架・販売しています。

利用上の注意

- ・ 歴史的公文書を利用する際は、不透明なバッグ類は、館内に持ち込めません。ロビーに設置してあるコインロッカーをご利用ください。
- ・ 公文書館内（展示閲覧室）での飲食はできません。
- ・ 歴史的公文書や行政資料は丁寧に扱ってください。
- ・ 館内はお静かにお願いします。

公文書館に掲示してある注意事項や係員の指示に従ってください。その他、ご不明な点はお問い合わせください。



閲覧席：旧城山町議会の議員が使用していた椅子。館内にはバックグラウンドミュージックが流れています。



企画展示コーナー：展示台には時宜に応じたものや話題性のあるものを年4回程度展示し、歴史的公文書や資料の紹介をしています。

- 歴史的公文書の紹介 -

公文書館には、平成26年度末で約320点の明治時代の公文書が保管・管理されています。

明治22年の市町村制が始まった頃の公文書はもとより、それ以前の戸長役場があった頃の文書も一部保存しています。

写真の公文書は、明治17年の文書で牧野村が青根村を相手取って起こした入会地の範囲についての訴訟に関する文書で、津久井町史や藤野町史にも掲載されているものです。



< 裁許状上申書の表紙 >



< 横浜裁判所の裁判言渡書 >

青根村から津久井町を経て相模原市との合併に伴い引き継がれてきた文書で、保存状態もよく、原本を直接手にとって閲覧することができます。

市立公文書館第1回企画展

< まだまだつながる市制施行60周年 >

公文書館が開館した平成26年は相模原市が市制を施行して60周年に当たります。

このことにちなんで相模原市誕生から今日



< 展示の様子 >

までの成長の様子が記録された公文書や行政資料を展示して紹介しました。まだまだつながる市制施行60周

年を合言葉に市民が一丸となって相模原市を育ててきた記録の展示です。

展示をした歴史的公文書には昭和29年

11月20日の市制施行式典に当時の神奈川県知事の内山岩太郎氏から寄せられた祝辞があります。



< 知事からの祝辞 >

当時の世相や相模原市の様子が伺える貴重な資料です。

さらに、プロ野球読売巨人軍監督の原辰徳氏の父で、本市に所在する東海大付属相模高等学校野球部の監督として2度の全国制覇を達成した原貢氏を「一日相模原市長」として任命した公文書を展示しました。また、原貢氏が市内のスーパーマーケットや少年野球教室等を訪れ、子どもたちに激励やPR活動を行った様子を残した写真等の展示を行いました。



< 一日市長の公文書 >

< 旧城山町の歴史的公文書 >

公文書館は旧城山町川尻、現在の緑区久保沢に立地しています。

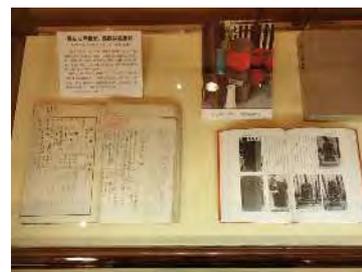
このことから開館に当たって、旧城山町が保存していた興味深い公文書の展示を行いました。

主なものとして昭和2年の旧



< 旧城山町の文書 >

川尻村の馬匹関連の書類で馬の戸籍に当たる



< 馬匹関連書類 >

馬籍を登録する馬籍簿や、大正9年の初めて村道が位置付けられたときの湘南村議会の会議録などを展示しました。

< 文書の保存方法について >

公文書の保存は、くん蒸から始まります。約2週間かけ、くん蒸された公文書は、その後一つ一つの文書について目録の確認を行います。次に公文書1冊ごとに整理番号を記載した紙をはさみ、保存性に優れた中性紙でできた段ボール箱に保存します。保存箱は公文書館や温度、湿度が管理された外部倉庫に保管されます。



< 文書保存の方法 >

公文書館講演会～地図から見た相模原の都市の移り変わり～

平成27年1月31日(土)、公文書館の第1回講演会を開催しました。講師には市史編さん委員として、御活躍されている桜美林大学の浜田弘明先生にお願いし、「地図から見た相模原の都市の移り変わり」と題して御講演いただきました。公文書館内の座席が58席のため先着申込制にしたところ、途中で定員に達する申込みがありました。来場者の95%の方から、再度講演会に参加したいとのアンケート結果が寄せられるなど大盛況の講演会となりました。



< 講演会の様子 >



当日は本市に数枚しか現存していない昭和15年作成の「相模原土地区画整理予定図」の原本を展示するなど、公文書館のPRとともに本市の歴史を物語る地図や公文書を間近に見ることのできる講演会となりました。

今後の事業予定

第2回企画展

4月16日(木)から6月20日(土)まで

「幻に終わった相武電気鐵道と南津電気鐵道」

第3回企画展

7月16日(木)から9月15日(火)まで

(仮称)「公文書から見た城山町の誕生から閉町まで」

年4回程度、企画展を開催する予定です。

第2回講演会

9月12日(土)

第3回企画展に合わせた内容で開催予定です。

詳しくは「広報さがみはら」などでお知らせします。

利用案内

開館時間

午前8時45分から午後5時まで

休館日

- ・月曜日
 - ・第3水曜日
 - ・12月29日から1月3日まで
 - ・その他市長が定める日
- その他
- ・講演会を開催するときなど、一般利用を制限する場合があります。
 - ・開館日や開館時間を変更する場合や一般利用を制限する場合は、広報さがみはらやホームページでお知らせいたします。

交通のご案内

橋本駅から「三ヶ木」、「上中沢」、「城山」、「若葉台住宅(町屋経由を除く)」、「小沢」、「鳥居原ふれあいの館」行きバスで約20分。

(橋本駅北口からのバスが便利です。)

三ヶ木方面からは橋本駅行きバスで「城山総合事務所入口」で下車、徒歩3分

城山総合事務所入口バス停付近



城山総合事務所



～編集後記～

公文書館が開館して早半年、発行しなければと思いつつもなかなか発行できなかった公文書館だよりの創刊号が出来上がりました。初めてのことで何を載せてよいか試行錯誤の中、やはり公文書館の案内や様子を掲載することとしました。

これからも1年生の公文書館をよろしくお願いします。<M>

公文書館だよりの 創刊号

編集発行 相模原市立公文書館
情報公開課

発行日 平成27年5月15日
〒252-5192

相模原市緑区久保沢 1-3-1
城山総合事務所第2別館3階
電話 042-783-8053

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shikumi/029728.html>